



妊娠から  
出産期



- 妊婦健診（14回分）・超音波検査（4回分）・子宮頸がん検診・歯科検診費用などを補助
- 新生児聴覚検査費用を補助（新生児1人につき上限3,500円）
- 伴走型相談支援、出産・子育て応援交付金（妊娠届出時に50,000円、赤ちゃん訪問後に出生児1人につき50,000円）を交付
- 第1子から誕生祝品（出生児1人につき商品券50,000円分）を支給
- ようこそ赤ちゃん応援メッセージ・ギフト事業（妊娠後期の妊婦さんに贈呈）

私の  
おススメ



保健師  
石川 佳苗

0歳から  
乳幼児期



- 赤ちゃん訪問（保健師・母子保健コーディネーターが訪問）
- ブックスタート事業（9か月児に絵本のプレゼント）
- 幼児のフッ素塗布（幼児健診時に無料でフッ素塗布）
- ファミリーサポート（子育ておたすけ事業）
- 一時預かり保育は5回まで無料（余目保育園・認定こども園からふる）
- 幼稚園でおかず給食を実施（ごはんだけ持参）

私の  
おススメ



保健師  
井上 久野

小学生から  
中学生



- 小学校入学時にランドセル、中学校入学時に通学カバンをプレゼント
- スクールバスの利用が無料
- 学童保育所が全小学校区に設置
- 学童保育料2人目以降半額（兄弟姉妹が一緒に利用したとき）
- 小中学生の給食費を半年間無料
- 経済的に困りの保護者には、学用品や給食費などを援助
- 中学3年生に地域の教員OBや大学生が学習支援を行う夢サポート塾

私の  
おススメ



指導主事  
富山 裕二



子どもたちの笑顔を守りたい  
パパママに寄り添う  
庄内町の  
子育て支援

今年4月、社会全体で子どもの成長を支援するために「こども家庭庁」が発足されました。庄内町でも、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に支援が行えるよう子育て応援課の中に「こども家庭支援係」が新設され、子育て支援の強化を進めていきます。庄内町のみならず

全国的に出生数の減少が続き、出産や子育てに関する考え方も多様化する今、安心して産み、子育てしやすい環境を整えるにはどうしたらよいのでしょうか。今回は、庄内町の子育て支援事業の紹介とともに、実際に子育て中のパパママの本音を聞かせてもらいました。

interview 01

進藤陽菜さん（南野）夫、子2人（4歳、2歳）

子育て応援住宅の住み心地は大変良く、近くに公園もあって子育てするにはとても良い環境だと思っています。子どもの医療費が中学3年生まで無料なこと、ランドセルをいただけることがとてもありがたいです。それと、近くに頼れる人がいなかったので、以前ファミリーサポート制度を利用したのですが、安心して預けることができ、とても助かりました。

今後町に望むことは、町内に小児科があるとありがたいと思います。



interview 02

原田美夏子さん、篤樹さん（緑町・余目）  
子2人（1歳、0歳）

職場で他市町の人と話していると庄内町の子育て支援をうらやましがられることがあります。例えば、ランドセルをいただけたり、保育園の入園がスムーズだったり。今回2人目の出産のときに、夫が1か月間育児休暇をとってくれて、本当に心強かったです。職場の人たちが快く理解してくれたおかげです。

今後町に望むことは、ランドセルの贈呈を継続してほしいことと、町内に小児科が欲しいです。





ご利用ください

子育て支援センター「こっころ」



0歳から小学生までのお子さんとそのご家族が遊んですごせる場所です。子育てに関することもお気軽にご相談ください。

- 開館時間：9:00～16:00
- 場所：町役場B棟1階
- 休館日：12/29～1/3
- 利用料：無料
- 問合せ：☎0234-42-2268

高校生から大学生



- 高校生のお子さんを養育するひとり親などの世帯で、児童扶養手当の支給認定を受けている世帯に商品券を支給
- 庄内総合高等学校に在学している世帯へは、通学定期券の購入時や資格取得にかかる経費を助成
- 育英資金は無利子で貸付

私のオススメ



企画情報課  
伊藤 典子

全年齢

- 0歳～中学3年生までのお子さんの医療費を無料  
※令和5年10月からは高校生までに拡大
- 病児病後児保育で働くパパママをサポート（生後3か月～小学6年生を対象に余目保育園内「ほっと」で実施）

子育て支援事業は他にもたくさんあります。詳細はHPでご紹介していますので、こちらの二次元コードからチェックしてみてください。



育てにくいな、ちょっと気になるなと感じたらいつでも児童発達支援係まで—こんな事業もあります—

なないろカフェ

- 日時：6/17(土) 10:00～11:30
- 場所：役場B棟 ●定員：20人
- 対象：町内にお住いの満2歳から小学2年生位までの保護者の方で、お子さんの言葉や発達面で育てにくさや不安をお持ちの方
- 内容：「親子がともに笑顔で過ごせるように…」講話&相談
- 講師：親子サポートステーション「メグシ」上野夢子氏 大川郁代氏
- 参加費：50円(茶菓代)
- 申込期限：6/8(木)
- 問・申込み：町福祉総合相談センター  
☎0234-42-2232、子育て応援課児童発達支援係☎0234-42-0158

ミニペアレントトレーニング

- ちょっと気になるお子さんのこと！一緒に考えてみませんか？
- 日時：7/1(土) 10:00～11:30
  - 場所：役場B棟 ●定員：20人
  - 対象：町内にお住いの満2歳から就学前までのお子さんの保護者
  - 内容：「発達に課題を抱えているお子さんの気づきを促すチェックポイント&関わり方」
  - 講師：発達支援塾SAKU(特別支援教育士)矢作若菜氏
  - 申込期限：6/15(水)
  - 問・申込み：子育て応援課児童発達支援係☎0234-42-0158

子育ての悩みも喜びも分かち合いたい

「庄内町は子育てしやすい」と言ってもらえるように、子育ての環境を整えるのが私たちの仕事です。そのためには行政としても物心両面の支援が必要だと思っています。

子育て支援センター「こっころ」には週末になると町内外から多くの親子連れが訪れ、賑やかな笑い声が響きわたります。そこで、パパママ同士が仲良くなり、さまざまな情報交換をしている様子を見ると微笑ましく感じます。

正解のない子育てだからこそ、心配や悩み、喜びもいろいろですよ。敷居が高い行政ではなく、パパママの気持ちに共感したり、不安な気持ちに寄り添いながら、子育て中のみなさんを見守っていただける町にしていきたいです。どうぞ遠慮なく私たちに頼ってください。

今年度は今後の計画策定のため、子育て世帯へのアンケート調査や、お子さんの声や保護者の方々の意見を伺う機会を設ける予定ですので、ぜひみなさんの声をお聞かせください。



子育て応援課長  
加藤 美子

interview 04

山口加奈子さん(烏町) 夫、子1人(5歳)

子育て支援センターと風車村は子どもを連れてよく利用しています。近くに遊び場がたくさんあるのは珍しいし、特に日曜日や祝日に開設している子育て支援センターは大変助かっています。ここで周りの方と情報交換したり、職員の方にちょっとした相談できるのもありがたいです。

庄内町は、子育て支援に力を入れている印象がありました。やはり、嬉しいのはランドセルをいただけることですね。ぜひ続けてほしい政策のひとつです。



interview 03

齋藤真実さん、修さん(吉方) 子3人(3つ子・2歳)、祖父母

生まれてくる子が3つ子だとわかったとき、嬉しさと驚きと不安な気持ちがありました。少し具合が悪い時に預かってもらえる余目保育園の病児保育や、子育て支援センター、同居する祖父母の協力がとてもありがたく、地域の人たちもいつも子どもの成長を気にかけてくれて温かい町だなと思います。

いろいろな町の子育て支援事業を利用したいと思っていますが、もう少し利用しやすい情報が欲しいです。あとは、小児科の設置と多胎児への支援があるとありがたいですね。

